



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 フルサト工業株式会社
コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大西 聡

TEL 06-6946-9605

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	70,403	10.7	2,565	18.7	2,806	17.0	1,773	19.0
27年3月期第3四半期	63,572	9.0	2,161	13.4	2,398	13.4	1,491	19.6

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,712百万円 (7.9%) 27年3月期第3四半期 1,587百万円 (△11.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	122.34	—
27年3月期第3四半期	102.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	56,793	34,686	61.1	2,392.53
27年3月期	56,212	33,650	59.9	2,320.92

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 34,686百万円 27年3月期 33,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	5.00	—	41.50	46.50
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	39.50	44.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	91,725	4.6	3,219	△1.6	3,499	△2.2	2,127	△4.6	146.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料 P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	14,574,366 株	27年3月期	14,574,366 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	76,350 株	27年3月期	75,608 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	14,498,501 株	27年3月期3Q	14,499,587 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、改善が見られる企業収益と、底堅い個人消費、雇用情勢の改善等により、緩やかな回復基調が続きました。鋳工業生産は輸送機械に持ち直しの動きが見られ、汎用機械、生産用機械等には弱さが見られました。工作機械の内需受注は4ヵ月連続で前年同月比減となりました。SRC造を含む鉄骨系構造の建築着工床面積には弱さが見られました。

このような環境の中、当社グループにおいては、鋳工業生産稼働に影響を受ける機器・工具事業の工業機器事業は若干弱含み、対して、自動車向け機械工具事業は堅調を維持しております。機械・設備事業は好調時の受注に支えられ増収となりましたが、受注は減少傾向にあります。建築・配管資材事業では未消化工事の増加傾向等の影響が続き、鉄骨建築資材事業の収益力の鈍化傾向は強まりましたが、配管資材事業は拠点開設、在庫増強等の効果により売上は増加しました。

それらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、704億3百万円（前年同期比10.7%増）となりました。営業利益は25億6千5百万円（同18.7%増）、経常利益は28億6百万円（同17.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億7千3百万円（同19.0%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

(機器・工具事業)

当事業の売上高は334億5千1百万円（前年同期比7.2%増）となりました。横ばい基調の生産稼働の影響により工業機器事業は鈍化し同7.7%増、自動車向け機械工具事業は輸送機械持ち直しの影響により同8.7%増と堅調に推移、住宅需要の回復により住宅設備機器事業が同4.5%増となったこと等によります。これらの結果、営業利益は同52.5%増の7億6千5百万円となりました。

(機械・設備事業)

当事業の売上高は149億6百万円（前年同期比36.9%増）となりました。好調時の受注により工作機械事業が同35.2%増、FAシステム事業が同44.8%増となりました。これらの結果、営業利益は4億9千9百万円（同120.4%増）となりました。

(建築・配管資材事業)

当事業の売上高は220億4千5百万円（前年同期比2.6%増）となりました。鉄骨建築資材事業は工事未消化等の影響で同1.4%の微増、配管資材事業は同7.5%増となりましたが、売上総利益率の低下及び、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は同9.3%減の12億2千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億8千万円増加し、567億9千3百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少25億3千6百万円、受取手形及び売掛金の増加9億7千万円、電子記録債権の増加8億3千6百万円、繰延税金資産の減少1億1千7百万円等により流動資産が9億2千6百万円減少したこと、有形固定資産の増加8億5千8百万円、投資有価証券の増加2億4千万円等により固定資産が15億7百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億5千5百万円減少し、221億6百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2億3千3百万円、未払法人税等の減少4億8千3百万円、賞与引当金の減少2億6千5百万円等により流動負債が2億9千1百万円減少したこと、長期借入金の減少1億6千万円等により、固定負債が1億6千4百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10億3千6百万円増加し、346億8千6百万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当により6億7千4百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により17億7千3百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月2日に公表しました平成28年3月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,170,896	8,634,046
受取手形及び売掛金	24,171,697	25,141,837
電子記録債権	1,192,232	2,028,591
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	3,663,379	3,563,489
仕掛品	512,398	437,301
原材料及び貯蔵品	121,704	122,863
繰延税金資産	295,069	177,805
その他	245,745	332,854
貸倒引当金	△36,444	△28,635
流動資産合計	41,536,678	40,610,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,090,343	3,118,339
土地	6,356,875	6,388,450
建設仮勘定	324	806,193
その他(純額)	426,318	419,827
有形固定資産合計	9,873,861	10,732,810
無形固定資産	101,354	97,262
投資その他の資産		
投資有価証券	3,059,546	3,300,476
退職給付に係る資産	416,321	478,377
その他	1,328,731	1,678,156
貸倒引当金	△103,595	△103,349
投資その他の資産合計	4,701,003	5,353,661
固定資産合計	14,676,219	16,183,734
資産合計	56,212,897	56,793,888

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,757,896	18,991,818
電子記録債務	76,613	167,061
1年内返済予定の長期借入金	160,000	160,000
未払法人税等	742,057	258,303
賞与引当金	554,355	288,748
役員賞与引当金	28,850	21,727
災害損失引当金	1,012	1,012
その他	976,493	1,117,371
流動負債合計	21,297,278	21,006,043
固定負債		
長期借入金	260,000	100,000
繰延税金負債	794,345	789,160
退職給付に係る負債	29,774	33,833
その他	181,107	177,957
固定負債合計	1,265,226	1,100,951
負債合計	22,562,504	22,106,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,975,224	5,975,224
利益剰余金	21,046,009	22,145,575
自己株式	△58,762	△60,102
株主資本合計	32,194,885	33,293,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,297,724	1,238,182
繰延ヘッジ損益	—	△1,505
退職給付に係る調整累計額	157,783	157,105
その他の包括利益累計額合計	1,455,507	1,393,782
純資産合計	33,650,392	34,686,894
負債純資産合計	56,212,897	56,793,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	63,572,324	70,403,422
売上原価	54,348,195	60,575,675
売上総利益	9,224,129	9,827,747
販売費及び一般管理費	7,062,636	7,262,235
営業利益	2,161,493	2,565,511
営業外収益		
受取利息	8,148	7,640
受取配当金	42,105	50,158
仕入割引	359,326	380,098
受取賃貸料	23,997	20,952
その他	19,677	12,823
営業外収益合計	453,256	471,674
営業外費用		
支払利息	1,823	1,275
売上割引	200,835	213,385
賃貸収入原価	2,189	2,789
その他	11,330	12,995
営業外費用合計	216,178	230,446
経常利益	2,398,571	2,806,739
特別利益		
投資有価証券売却益	64,627	—
特別利益合計	64,627	—
特別損失		
固定資産除却損	—	8,544
投資有価証券売却損	200	—
特別損失合計	200	8,544
税金等調整前四半期純利益	2,462,999	2,798,194
法人税、住民税及び事業税	828,654	880,921
法人税等調整額	143,277	143,516
法人税等合計	971,932	1,024,437
四半期純利益	1,491,066	1,773,756
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,491,066	1,773,756

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,491,066	1,773,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93,130	△59,541
繰延ヘッジ損益	—	△1,505
退職給付に係る調整額	3,122	△678
その他の包括利益合計	96,253	△61,725
四半期包括利益	1,587,320	1,712,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,587,320	1,712,031
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,202,815	10,884,792	21,484,716	63,572,324	—	63,572,324
セグメント間の内部 売上高又は振替高	822,988	84,001	17,247	924,237	△924,237	—
計	32,025,803	10,968,794	21,501,964	64,496,562	△924,237	63,572,324
セグメント利益	502,249	226,730	1,347,100	2,076,080	85,412	2,161,493

(注)① セグメント利益の調整額85,412千円には、セグメント間取引消去89,371千円、たな卸資産の調整額△3,959千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,451,816	14,906,585	22,045,020	70,403,422	—	70,403,422
セグメント間の内部 売上高又は振替高	875,681	310,962	15,984	1,202,627	△1,202,627	—
計	34,327,498	15,217,547	22,061,004	71,606,050	△1,202,627	70,403,422
セグメント利益	765,983	499,757	1,222,214	2,487,955	77,555	2,565,511

(注)① セグメント利益の調整額77,555千円には、セグメント間取引消去82,067千円、たな卸資産の調整額△4,512千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。